

「朝陽」5月号(2014年)1

チに立たれた旧制12回の池上義治さんと同じく旧制12回の内山高三さんは、「参加無料となったから出てきたわけではない」と述べられて颯爽としたお姿でした。

時節がらか話題はリストラ関連で楽しく盛り上がりました。新制18回の高崎一彦さんは国会審議の合間を縫って東京から駆けつけてくださいましたが、「三十年親しんだ我が省庁の名前も消えてしまった」とチョッピリ寂しそう。同じく18回の鈴木恵三さんは、歯科医師免許を持ちつつ、長年にわたり保健所勤務や日高山脈の僻地の某町の保健課長をつとめられたのに、役所の「機構改革」で、本人が言うところによれば「公務員をクビになった」。一つの市町村だけではもはや保健行政すらまかなえない今の日本です。鈴木さんはその後、医療機器の開発・輸入というビジネスに転進して、月の半分以上は東京か米国という生活だそう。うらやましい。

参加者がアツと驚いたのは27回の阿部弘さん。二十年以上上勤めた某大銀行を辞めて、札幌の中心部に高級婦人服のブティックを開業されました。「色彩鑑定士」の資格取得されたとのこと。「お手頃の備

北海道朝陽会

新しい世紀のはじまりの年の、恒例となつた七月第一土曜日、第十八回北海道朝陽会が開催されました。例年よりも多い二十二名の健児のみなさんが楽しい一時をすごしました。冒頭に会則の変更が承認され、八十歳以上の会員は無料御招待となる



支部だより

格設定です」とは本人の弁。

会の最後は、新制40回の楡龍之さんのサクソフォン伴奏による六中健児の歌の合唱で幕。楡さんも普通の中学校の先生から、道立養護学校の先生へと転進されて生き生きとしていました。

閉会后、相当数の方が三代会、四代会へと流れていき、その流れはその後の暮れの忘年会まで続きました。

今年も七月六日の第一土曜日午後六時半より札幌グランドホテルにて第十九回北海道朝陽会を開催します。はじめての方も、すぐ東京に戻る転勤族のかたもお気軽にご参加ください。

〔連絡先〕〒064-0952

札幌市中央区宮の森二条十二丁目5-24

(電話)011-642-2867

吉野悦雄(新20回)

メール eyoshino@pop.econ.hokudai.ac.jp

恩師訃報

田中英雄先生

(英語科・昭和三十九年〜四十四年在職)
平成十四年四月四日逝去。

謹んでお悔やみ申し上げます。